

第101回 全国高校野球選手権大会



打者を置き、実戦形式の練習で投球する横山海夏凧
11日、大阪府豊中市の豊中ローズ球場

光星 実戦形式で練習 智弁学園戦に向け調整

第101回全国高校野球選手権大会第7日（12日）の2回戦で智弁学園（奈良）と対戦する青森県代表の八学光星は9日、大阪府豊中市の豊中ローズ球場で午後3時から約2時間、走者を置いて、投手が打者に投げる実戦形式の練習に取り組んだ。

練習では左腕の横山海夏凧、右腕の渡邊天楼が登板。メンバーを相手に直球や変化球を投げ込み、打者は走者を置いて打席に入り、状況に応じた打撃や走塁の対

応を確認した。横山は「最初はそれほど良くなかったが、徐々に感

覚を取り戻せた」、渡邊は「低めにまとめ、要求されたコースに投げ込むことができた」と、それぞれ手応えを語った。
光星ナインは10日午後1時から、兵庫県伊丹市で調整する。
（林泰輔）